

リコッテイについて

【目的】

- 地方創生の一環として村が取り組む創業支援の拠点として活用
- 具体的には、創業を目指す又は操業初期の事業者（個人又は法人）に安価な料金で貸し出せるレンタルオフィス等を設置
- また、駅前という立地条件の良さを活かした来村者等への観光案内、地元土産品のPR・販売等、地域活性化に繋がる活動が行えるよう、観光協会事務局を設置
- 一般への貸出し（多目的ホール、会議室）

【活用方針】（レイアウト・活用時期等）

【1階】

- ラウンジ・ロビー
- ▼一般の方が自由に利用できる空間とし、観光協会のPRエリアを併設
- ▼軽食等の提供が可能な事業者向けにラウンジを貸し出し、集客及び事業化への足がかりとする。
- 多目的ホール・会議室
- ▼一般への貸出しによる活用
- ▼取得後において速やかに体制を整え、平成28年当初から貸出しを開始



【2階】 ●オフィスゾーン

- ▼創業支援の拠点としてレンタルオフィス等を設置
- ▼少人数用のオフィス、シェアードオフィス、商談等に利用できる共用ラウンジを備える。

●レンタルスタジオ

- ▼防音室を活用したレンタルスタジオを設置（機材は利用状況に応じて整備）

【3階】

- 会議室1・会議室2
- ▼一般への貸出し又は特定機関への貸出しを想定



機張フォーラムとは…機張フォーラムは、平成27年6月8日～10日に大韓民国釜山広域市パラダイスホテルで開催されました。本フォーラムは、世界中の原子力発電所を持つ自治体がメンバーとなり、原子力施設を持つ都市の発展と安全の推進を目的とし、原子力とその将来的な発展への道に關する主要な課題を中立的に議論するために開催されています。日本からは、本村以外に佐賀県玄海市、青森県東通村、静岡県御前崎市が参加しました。

平和安全法制的買収やリコッテイの買収や

平成27年第2回東海村議会定例会は、村長が大韓民国釜山で開催された機張（キジャン）フォーラムに参加するため、通常の日程を変更して6月5日に開会しました。15～17日には一般質問（14人）が行われ、22日の議案審議では3億4千万円のリコッテイ取得費や9千万円の（仮称）歴史と未来の交流館建築設計業務委託料を含む、議案11件が全て可決されました。また、現在の国会でも95日間延長して審議されており、安保安法案に關連して、東海村議会に提出された「平和安全法制（戦争法案）の慎重審議を求める意見書提出を求める請願」が審議され、反対多数で不採択となりました。

（仮）歴史と未来の交流館とは

- 東海村の歴史や文化財を「伝承、資料収集、保存、展示」などにより次世代に繋げる施設。
- 未来を担う子どもたちが「観る、触れる、学ぶ、好奇心をはぐくむ」などの体験機能を有機的に活用できる施設。
- さまざまな世代による交流活動の創出や情報発信による新たな生涯学習を推進する施設。

